鈴鹿川水系　内外水統合型の浸水想定図（1/100規模降雨）
【現況河道】

1．説明文

（1）この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、年超過確率1／ 100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1／100（1%））の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。

（2）この浸水想定図は、現況の鈴鹿川流域（一部、天白川・金沢川流域含む）の河道、洪水調節施設及び雨水排水施設の整備状況を勘案して、年超過確率 1／100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1／100（1%））の降雨に伴う洪水により鈴鹿川流域（一部、天白川・金沢川流域含む）の河川・下水道が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

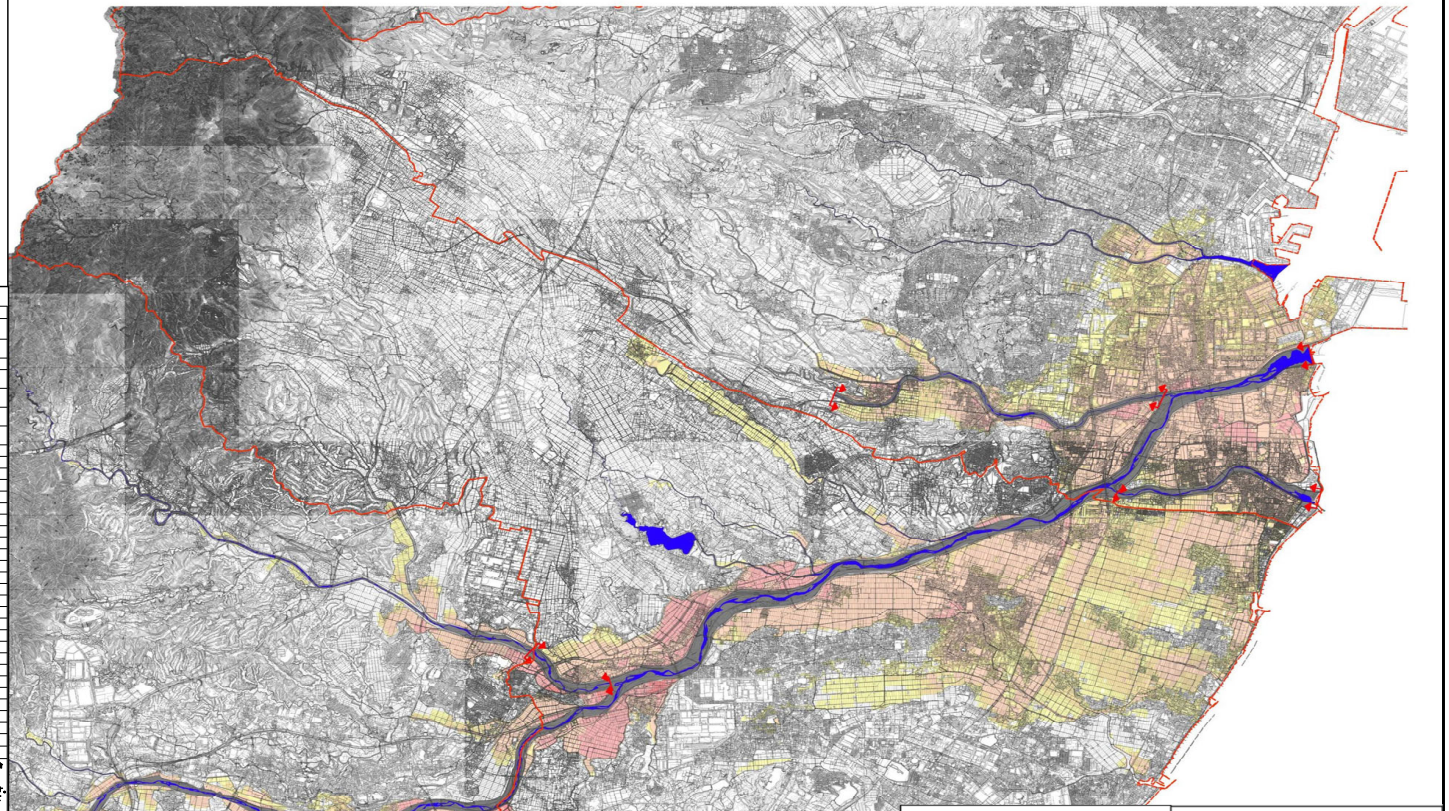
（3）このシミュレーションの実施にあたっては、高潮による氾濫を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定範囲内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

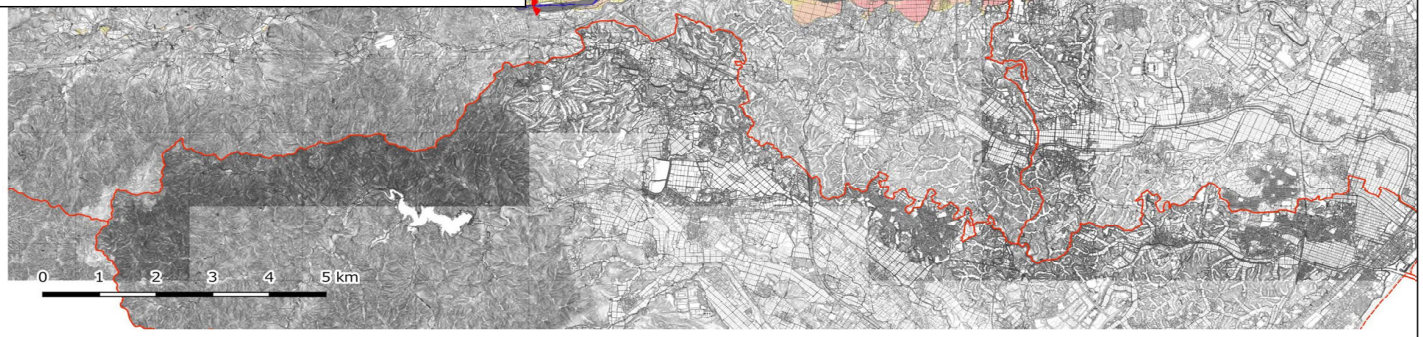
　また、下水道からの氾濫は、塩浜地区、楠地区、河原田地区、内部地区、東御幸地区、金沢地区を考慮していますが、雨水出水浸水想定区域図とはシミュレーション条件が異なるため、雨水出水浸水想定区域図とは異なる浸水範囲・浸水深・浸水継続時間となっています。なお、このシミュレーションは、鈴鹿川水系河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（鈴鹿川中下流・鈴鹿川派川：平成7年5月型、鈴鹿川上流：昭和28年9月型、内部川：昭和40年9月型、安楽川：昭和36年6月型）や三重県洪水浸水想定区域図検討時の計画規模での降雨波形、各河川流域・下水道排水区域の特性・被害リスク等に基づいて設定した降雨波形等を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

2．基本事項等

（1）	公表年月日	令和8年3月31日
（2）	作成主体及び対象となる河川	作成主体　：国土交通省中部地方整備局三重河川国道事務所 対象河川　：鈴鹿川、鈴鹿川派川、内部川、安楽川、菅川、天白川、春川、施薬川、稲山川、園川、芳川、亀川、椋川、小原川、春明川、小施川、真見川、藤谷川、金沢川
（3）	実施区間（全区間河川のみ記載）	鈴鹿川水系鈴鹿川	北岸：三重県鈴鹿市国府町字寺谷1496地先から海まで 南岸：三重県鈴鹿市平田町北字芝生5番地の1地先から海まで
		鈴鹿川水系鈴鹿川派川	鈴鹿川からの分派点から海まで
		鈴鹿川水系内部川	北岸：三重県鈴鹿市南玉垣町字赤子1347地先から鈴鹿川への合流点まで 南岸：三重県鈴鹿市安楽谷小路町字中谷1409地先から鈴鹿川への合流点まで
		鈴鹿川水系安楽川	北岸：三重県鈴鹿市神戸町字宮天1749番の1地先から鈴鹿川への合流点まで 南岸：三重県鈴鹿市神戸町字谷ヶ坪2777番の5地先から鈴鹿川への合流点まで
		天白川水系春川	北岸：三重県鈴鹿市南玉垣町字赤子の西から鈴鹿川への合流点まで 南岸：三重県鈴鹿市南玉垣町字赤子の西から鈴鹿川への合流点まで
		天白川水系天白川	北岸：三重県鈴鹿市南玉垣町字赤子の西から鈴鹿川への合流点まで 南岸：三重県鈴鹿市南玉垣町字赤子の西から鈴鹿川への合流点まで
（4）	算出の前提となる降雨	鈴鹿川水系鈴鹿川、鈴鹿川派川、内部川、安楽川（鈴鹿長雨）	年超過確率1／100（対象河川流域の48時間雨量249mm）
		鈴鹿川水系鈴鹿川	年超過確率1／100（対象河川流域の6時間の降雨量175mm）
		天白川水系天白川	年超過確率1／100（対象河川流域の1時間の降雨量107mm）
		鈴鹿川水系鈴鹿川（指定雨量）	年超過確率1／100（対象河川流域の6時間の降雨量168mm）
		鈴鹿川水系内部川（指定雨量）	年超過確率1／100（対象河川流域の6時間の降雨量167mm）
		鈴鹿川水系安楽川（指定雨量）	年超過確率1／100（対象河川流域の6時間の降雨量174mm）
		鈴鹿川水系春川	年超過確率1／100（対象河川流域の1時間の降雨量99mm）
		鈴鹿川水系施薬川	年超過確率1／100（対象河川流域の1時間の降雨量99mm）
		鈴鹿川水系稲山川	年超過確率1／100（対象河川流域の1時間の降雨量99mm）
		鈴鹿川水系園川	年超過確率1／100（対象河川流域の1時間の降雨量99mm）
		鈴鹿川水系芳川	年超過確率1／100（対象河川流域の6時間の降雨量107mm）
		鈴鹿川水系亀川	年超過確率1／100（対象河川流域の1時間の降雨量122mm）
		鈴鹿川水系椋川	年超過確率1／100（対象河川流域の1時間の降雨量122mm）
		鈴鹿川水系小原川	年超過確率1／100（対象河川流域の1時間の降雨量122mm）
		鈴鹿川水系春明川	年超過確率1／100（対象河川流域の1時間の降雨量99mm）
		鈴鹿川水系小施川	年超過確率1／100（対象河川流域の1時間の降雨量99mm）
		鈴鹿川水系真見川	年超過確率1／100（対象河川流域の6時間の降雨量196mm）
		鈴鹿川水系藤谷川	年超過確率1／100（対象河川流域の6時間の降雨量196mm）
		金沢川水系金沢川	年超過確率1／100（対象河川流域の6時間の降雨量161mm）
		下水道等（塩浜地区）	年超過確率1／100（対象河川流域の12時間の降雨量264mm）
		下水道等（楠地区）	年超過確率1／100（対象河川流域の12時間の降雨量244mm）
		下水道等（河原田地区）	年超過確率1／100（対象河川流域の24時間の降雨量322mm）
		下水道等（内部地区）	年超過確率1／100（対象河川流域の1時間の降雨量99mm）
		下水道等（東御幸地区）	年超過確率1／100（対象河川流域の1時間の降雨量122mm）
		下水道等（金沢地区）	年超過確率1／100（対象河川流域の6時間の降雨量161mm）
（5）	河道等条件	現況（河道・洪水調節施設・下水道施設）
（6）	開始水位	鈴鹿市堀、鈴鹿市、亀山市
（7）	その他計算条件等	①この図は、全区間河（洪水予報河川及び水位周知河川）・その他河川（生活河川以外の一級・二級河川）・下水道等（雨用河川、普通河川、各種排水路）で越水・破堤した場合の浸水想定範囲を図示しています。 ②この図は、鈴鹿川水系の河川の河口から上流において、一定の条件で越水・破堤させたときの氾濫原解析領域図を基に作成したものです。 ③氾濫計算は、対象区間を出来るだけ5m間隔の格子（計算メッシュ）に分割し、これを単位として氾濫計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。 ④洪水流水深算定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュ毎の最大浸水深を算出し、無数する計算メッシュとの隣接性や隣接建土構造物（道路や施設の盛土など）等を考慮して調整しています。

※この浸水想定図は流域治水の推進を目的としたものであり、水防法に基づく図ではありません。





凡例

浸水した場合に想定される水深（ランク別）

- 0.3m未満の区域
- 0.3m～0.5m未満の区域
- 0.5m～1.0m未満の区域
- 1.0m～3.0m未満の区域
- 3.0m～5.0m未満の区域
- 5.0m～10.0m未満の区域
- 10.0m～20.0m未満の区域
- 20.0m以上の区域
- 河川等範囲
- 浸水想定区域指定の対象となる洪水予報河川・水位周知河川

この地図の作成に当たっては、三重県市町総合事務組合管理者の承認を得て、同組合発行の「2017三重県共有デジタル地図」を使用した。（承認番号 三総合地第１４号）